



〒030-0180  
 青森市第二両町3丁目1番89号  
**東奥日報社**  
 電話 017-739-1111  
 ©東奥日報社 2010

## 水中映像の第一人者 中村宏治さん講演

世界で活躍している水一受けたい授業「ベース中映像の第一人者、中村トハウス1、2、3」な宏治さんが12日、むつ市どにも出演している。のむつ来さまい館で、「い 講演では、日本の海とのち うみ ふるさと」 そこに暮らす生命の魅力をテーマに講演する。入を美しい映像で紹介し、ふるさとの海が世界の中場無料。

### 日本の海魅力紹介

12日、むつ来さまい館

の素晴らしさを紹介します

年、東京生まれ。78年に日本水中映像株式会社を設立。映画、テレビ、CM、大型展示施設など、あらゆる分野で数多くの水中映像作品を手掛けている。テレビ番組「世界主催は、むつ市海と森ふれあい体験館の指定管理者NPO法人シエルフオレスト川内。志館長が中村さんと顔なじみで、今回の講演が実現。中村さんは11日に陸奥湾に潜って撮影、講演で紹介する予定。五十風館長は「世界一受けたい授業を、下北で受けるチャンスです」とPRしている。



### いのち ふるさと

～水中カメラマン 中村宏治氏 講演会～

講演会内容：世界中で活躍する水中映像の第一人者、中村宏治さんの講演。講演内容は、水中映像の歴史、撮影の秘訣、日本の海の魅力を紹介します。

主催：NPO法人シエルフオレスト川内  
 協賛：むつ市来さまい館、いわてみらいセンター、いわてみらいセンター  
 会場：むつ市来さまい館 1F 大ホール  
 入場料：無料  
 申込：むつ市来さまい館 017-739-1111

中村宏治さんの講演会を知らせるポスター

# 北下十三上



情報をお寄せください

十和田支局  
 ☎0176-22324  
 FAX ☎0919  
 F ☎む

(17) 第42606号

(第三種郵便物認可)

国内外で活躍している水中映像の第一人者

### 「水中映像の第一人者」

# 中村さん 陸奥湾潜る

## きょう、むつ市で講演

者、中村宏治さん(62)が11日、むつ市川内町「ち」沖に潜り、海中



陸奥湾に潜りアマモなどを撮影してきた中村さん  
 11日正午ごろ、むつ市かわうちまりんぴーち

の様子を撮影した。数多くの海を知る中村さんだが、陸奥湾の海に本格的に潜ったのは今回が初めて。「アマモがびっしり生えていて、草原を歩く感じだった。とてもきれいな映像が撮れた」と満足そうだった。

中村さんは12日に、むつ来さまい館で講演するため、むつ市を訪れている。11日は、海水温約5度の冷たい海に、ドライスーツなどを着用して潜水。海底まで4〜5層の辺りまで30分ほど撮影した。海から上がった中村

さんは「アマモは稚魚のゆりかご。大型の魚の稚魚も泳いでいた。びっしり生えているというところは、非常に安定した海底といえる」と好印象を抱いた様子。「近年はふるさと海とも言うべき内湾が注目されており、面白い発見がたくさん出てきている。夏に再び訪れて潜ってみたい」と興味を示していた。

中村さんの講演のテーマは「いのち、うみふるさと」。「アマモが生えているところは、人間の住む環境圏に入り込んでいるところでもある。人と野生が折り合いを付けて生活している、この「小自然」をきちんと見ることが大事」と語る。

今年も年間100日は潜りたいという中村さん。「日本の海の津々浦々で、面白い物語をつくりたい。その海をよく知っている人、理解してくれる人たちと一緒に」と目を輝かせる。

この日撮影した映像は準備が間に合えば、講演会で披露するという。講演会は午後6時半から、入場無料。

(福井透)

# 青森

青森総局

新 聞 日 報 青 森

## 水中撮影の第一人者 中村宏治さん講演会

きょう、むつで

水中映像撮影の第一人者、中村宏治さんの講演会「いのち うみ ふるさと」が12日午後6時半から、むつ市田名部町の「むつ来さまい館」で開かれる。NPO法人シエルフォレスト川内が主催する。入場無料。

中村さんは海外の映画やテレビの水中撮影でも活躍するプロ。海の生き物たちの生態を美しい映像で伝えてきた。日本水中映像の社長として、公開されているフランスのドキュメンタリー映画「オーシヤンズ」の製作にもかかわった。講演では日本の海と生命の魅力を映像で紹介する。

2010(H22)  
3/18(木)

# 美しい海にくぎづけ

## 水中カメラマン 中村さん講演 む

水中映像の第一人者、中村宏治さんの講演会がこのほど、むつ市のむつ来さまい館で開かれた。中村さんは「いのち うみ ふるさと」をテーマに、各地の海で撮影した映像をスクリーンに映し出し、生き物の多様性や生命の魅力について講演した。会場には市民ら約250人が詰めかけ、多くの立ち見が出る盛況ぶり。来場者はユニークな生物や美しい海の表情に目をくぎづけるにしながら、中村さんの話に聞き入った。講演会は、同市川内町のNPO法人「シエルフォレスト川内」が主催した。中村さんは前日、1時間ほど川内沖の陸奥湾に潜っており、その時に撮影したアマモの写真を紹介し、「素晴らしい体験だった。海藻が水面を通して入ってくる光をきらきら照らし、とてもきれいで幸せそうに見える。こういう場所は魚たちも生きやすい」と述べた。



世界や日本の海で撮影したさまざまな映像を紹介し、生命の魅力などについて語る中村さん

また、日本周辺の海を「亜熱帯・黒潮の海」「極寒・親潮の海」「2つの潮が出合う海」と分け、それぞれの映像を説明。水温が氷点下2度という北海道沖の海に潜った際に「氷の下にクラゲやクリオネを見つけた。動物のかわいさと美しさが、海の冷たさを忘れさせてくれた」と振り返った。